

令和3年2月4日

報道機関 各位

泉屋博古館特別展

鋳物(いもの)・モダン — 花を彩る銅のうつわ — について

1. 趣旨

東アジアにおける金属工芸は実に3000年の歴史のなかで育まれてまいりました。中国では宋時代以降、古代青銅器を模倣した銅花器が文人の書斎を飾る道具として珍重されました。日本にも室町時代以降多くもたらされ、江戸時代にはそれらを模倣した銅花器が発達し、さらにその伝統は近代へと受け継がれました。

本展覧会では富山大学芸術文化学部所蔵の^{おおごう}大郷コレクションを中心にして、日本近代銅花器の多種多様な造形をご紹介します。さらに近代^{ろうがたちゅうぞう}蠟型鋳造発展に大きく貢献した高岡市の^{すがしやうえん}須賀松園工房に焦点を当て、その代表作品とともに^{ろうげんけい}蠟原型なども併せて公開します。日本近代銅器制作のなかで大きな地位を占めた蠟型鋳造技法をわかりやすくご紹介します。

^{おおごう}大郷コレクションについて

富山市出身の花道家・^{おおごう りめい}大郷理明氏の眼で選び抜かれた花器のコレクション。その中心は明治時代以降につくられた銅花器で、郷里・富山の中でも鋳物の街として知られる高岡市にキャンパスを持つ富山大学芸術文化学部へ寄贈されました。古典美を追究したのから、カニなど生き物を超絶技巧で表したユニークなものまで、近代金工の魅力がぎゅっと詰まったコレクションです。まとまった公開は、関西初となります！



2. おもな展示品

饗餚文尊	中国・西周時代	泉屋博古館蔵
下蕪形象耳瓶（象耳花入キネナリ）	中国・元時代	泉屋博古館蔵
攀龍文大花瓶 <small>はんりゅうもん</small>	初代須賀松園	高岡市美術館蔵
富士卷狩・武者文耳付薄端	増山永親	高岡市美術館蔵
龍流足芙蓉薄端	銘栄清	富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）
蟹文魚籠形花器		富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）
甲虫貼付瓢形花器	銘陵雲作	富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）
尊型古代文様花器		富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）
菊桐唐草透彫筒形花器		富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）

3. 開催要項

名 称	「 <small>いもの</small> 鑄物・モダン ー花を彩る銅のうつわー」
会 期	2021年3月13日（土）～5月16日（日） 〔開館時間〕午前10時00分～午後5時00分（入館は午後4時30分まで） 〔休館日〕月曜日（5月3日は開館）、4月23日（金）、5月6日（木）
会 場	泉屋博古館 企画展示室 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 Tel : 075-771-6411
出 品 数	約60件
主 催	公益財団法人泉屋博古館、富山大学芸術文化学部、京都新聞
特別協力	須賀正紀、大郷理明



4. 関連行事

■アートサロン「銅花器をめぐる東アジア三千年の伝統」 *入館者は無料、要予約

4月24日(土) 14時~16時 泉屋博古館講堂にて 定員40名

パネリスト 三船 温尚 (国立大学法人富山大学学術研究部芸術文化学系教授)
三宮 千佳 (国立大学法人富山大学学術研究部芸術文化学系准教授)
廣川 守 (泉屋博古館館長)

コーディネーター 竹嶋 康平 (泉屋博古館学芸員)

■連続講演 *入館者は無料、要予約

3月27日(土)「銅花器の源流 -中国銅花器の系譜」 廣川 守
4月3日(土)「日本に銅花器がやってきた -先人たちの銅と花がある暮らし」 竹嶋 康平
4月10日(土)「いけばなと近代青銅花器 -大郷コレクションの寸銅・薄端・水盤-」 三宮 千佳
4月17日(土)「人類が極めた蠟型鑄造法 -ロウと炎と青銅の技」 三船 温尚

■ワークショップ「ロウで作品を作ろう -鑄型づくりから鑄造まで (仮)」 *参加費1,000円、要予約

4月25日(日) 13時~16時 泉屋博古館内会場にて 定員14名 小学4年生以上対象

講師 三船 温尚 (雨天・荒天の場合は鑄型づくりまで)

〔問い合わせ先〕

【富山大学芸術文化学部総務課】

富山大学芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

〒933-8588 高岡市二上町180

電話 0766-25-9139 FAX 0766-25-9104

【泉屋博古館 広報窓口】

泉屋博古館学芸課 坂井さおり sakai@sen-oku.or.jp

〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

電話 075-771-6411(代表) FAX 075-771-6099

以上



饕餮文尊 中国・西周時代
泉屋博古館蔵



尊型古代文様花器
富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）



下蕪形象耳瓶（象耳花入 キネナリ） 中国・元時代
泉屋博古館蔵



初代須賀松園 攀龍文大花瓶
高岡市美術館蔵



銘陵雲作 甲虫貼付瓢形花器
富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）



増山永親 富士卷狩・武者文耳付薄端 高岡市美術館蔵



銘栄清 龍流足芙蓉薄端
富山大学芸術文化学部蔵（大郷コレクション）



菊桐唐草透彫筒形花器（右上：全体図 左下：部分拡大）
富山大学芸術文化学部（大郷コレクション）

現代の銅花器の彩るあ

Modern Metalware

Special Exhibition

併設
青銅器の時代
「中国編」の時代

特別展

Bronze Vessels
for the Art of Ikebana



いもの いもの。
飛び出せ モダン!

2021
3/13 (Sat.)
5/16 (Sun.)

〔休館日〕
月曜日
〔祝日は開館〕
4月23日
5月6日

〔開館時間〕
午前10時～
午後5時
〔入館は午後
4時30分まで〕

〔入館料〕一般800円、高大生600円、
中学生以下無料・20名以上は団体割引20%、障がい
者手帳ご提示の方は無料・本展覧会の入場料で青銅器
館もご利用いただけます。

初代須賀松園(華籙文大花形(部分)、大正1昭和時代前期
高岡市美術館蔵。※いけばなは華道家大總理明氏の作品を
イメージカットとして使用しています)

住友コレクション
泉屋博古館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

東アジアにおける金属工芸は、実に三千年の歴史のなかで育まれてまいりました。中国では宋時代以降、古代青銅器を模倣した銅花器が文人の書斎を飾る道具として珍重されました。日本にも室町時代以降多くもたらされ、

江戸時代にはそれらを模倣した銅花器が発達し、さらにその伝統は近代へと受け継がれました。

本展覧会では、富山大学芸術文化学部所蔵の大郷コレクションを中心に、

日本近代銅花器の多種多様な造形をご紹介します。

さらに近代蠟型鑄造発展に大きく貢献した須賀松園工房に焦点を当て、その代表作品とともに蠟原型なども併せて公開します。

日本近代銅器制作のなかで大きな地位を占めた蠟型鑄造技法をわかりやすくご紹介いたします。

【鑄物】

熱して溶かした金属を型に流し込み、冷やして固めてつくられた金工品が鑄物です。言葉で説明するとシンプルですが、その歴史は古く、また生み出される造形も多彩で複雑。お見逃しなく！

【大郷コレクション】

富山県出身の華道家・大郷理明氏の眼で選ばれた花器のコレクション。その中心は明治時代以降につくられた銅花器で、郷里・富山の中でも鑄物の街として知られる高岡市にキャンパスを持つ富山大学芸術文化学部へ寄贈されました。古典美を追究したことから、カニなど生き物を超絶技巧で表したユニークなものまで、近代金工の魅力がぎゅっと詰まったコレクションです。関西でのまじまった公開は、今回が初めて！



象嵌された蝶が舞う!!

《千筋線象嵌入り寸鐘》
銘五郎三造
富山大学芸術文化学部蔵
(大郷コレクション)



《龍流定芙蓉燗燗》
銘栄清
富山大学芸術文化学部蔵
(大郷コレクション)

《獅子戯戯文金銀象嵌花瓶》
明治10年(1877)
高岡市美術館蔵



《富士巻勢・武者文耳付燗燗》
増山永親
明治時代前期
高岡市美術館蔵



《銅鍍文壺》
中国・前漢
泉屋博古館蔵



《蟹文魚鱗形花瓶》
富山大学芸術文化学部蔵
(大郷コレクション)



カニも鑄物なんです!!
どうだ!!



《甲虫貼付蠟形花瓶》
銘隆堂作
富山大学芸術文化学部蔵
(大郷コレクション)

いけばな：大郷理明

EVENTS イベント ※すべて要予約(電話075-771-6011)

連続講演 いずれも14時~15時30分/会場は当館講堂/定員40名

3月27日(土) 講師・廣川守(泉屋博古館館長)

「銅花器の源流―中国銅花器の系譜―」

4月3日(土) 講師・竹嶋康平(泉屋博古館学芸員)

「日本に銅花器がやってきた―先人たちの銅と花がある暮らし―」

4月10日(土) 講師・三宮千佳(富山大学芸術学部芸術文化学系准教授)

「いけばなと近代青銅花器―大郷コレクションの寸銅・薄端・水盤―」

4月17日(土) 講師・三船温尚(前富山大学芸術学部芸術文化学系教授)

「人類が極めた蠟型鑄造法―ロウと炎と青銅の技―」

アートサロン

4月24日(土) 14時~16時/定員40名/会場は当館講堂

「銅花器をめぐる東アジア三千年の伝統」

パネリスト・三船温尚、三宮千佳、廣川守 コーディネーター・竹嶋康平

ワークショップ

4月25日(日) 13時~16時/会場は当館講堂、場合により敷地内屋外/定員14名

「ロウで作品を作ろう―鑄型づくりから鑄造まで―」

(雨天・荒天の場合は鑄型づくりまで)

講師・三船温尚(前富山大学芸術学部芸術文化学系教授)

対象・小学4年生以上

参加費・1,000円



住友コレクション 泉屋博古館

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL 075-771-6411
<http://www.sen-oku.jp/kyoto>

交通：京都市バス
593 203 204系統「東天王町」下車
東へ300m角、
32100系統「宮ノ前町」下車すぐ



予約受付開始 4/1

予約受付開始 4/1

予約受付開始 3/13